

展示情報

京都大学総合博物館 2024年度特別展
蝶に会える日―村田泰隆コレクション展Ⅲ 日本の蝶

会期:2024年11月20日(水)－12月15日(日)

会場:京都大学総合博物館

主催:京都大学総合博物館

企画・構成:

上西太朗(京都大学大学院理学研究科 博士課程)

家木壮一(京都大学大学院農学研究科 修士課程)

近藤高明(京都蝶の会 会員)

伊藤毅(京都大学総合博物館 助教)

展示事務:本條真宏、管野貴仁

本特別展の開催と本書の作成にあたり、下記の方々よりご協力いただきました。ここに深くお礼申し上げます。(五十音順・敬称略)

岩崎奈緒子、齋藤歩、佐々木智彦、竹内剛、竹之内惇志、永益英敏、村上由美子、村田麻里子、本川雅治、矢後勝也、山本芳栄

京都大学全学共通科目「博物館展示論」受講生の皆さん

写真:ミドリシジミ (2019/6/22 滋賀県高島市) <上西>



はじめに

村田泰隆氏によって蒐集・寄贈された蝶類コレクションを展示する「蝶に会える日」シリーズは、今回で3回目を迎えました。これまでの展示では主に海外の蝶を紹介してきましたが、今回は日本の蝶に焦点を当てました。本展では、膨大なコレクションの中から厳選した38箱の標本を通して、日本列島の蝶類相(特に、冷涼な環境に取り残された「遺存種」と呼ばれる蝶や、東アジアに固有の蝶であるギフチョウ属、そして南方から飛来し続ける「迷蝶」に注目して)、京都の蝶の今昔、アリと共に生きる蝶、ゼフィルス(ミドリシジミ類)の多様性、そして危機に瀕する蝶に迫りました。今回ご紹介したのは日本に生息する蝶のごく一部ですが、都市部の日常生活ではなかなか目にすることのない蝶の標本も展示しました。本書は、展示内容を補足し、記録として残すための展示解説・図録です。本特別展と本書を通して、蝶の美しい色彩を楽しんでいただくとともに、日本列島の自然が育んだ奥深い多様性とそのかけがえのない価値について思いを馳せていただければ幸いです。

写真:各種ゼフィルスの豊産地である三川山の遠景
(2004/6/19 兵庫県豊岡市) <近藤>